

第 46 回国際キワニス日本地区総会福島大会

日時：2025 年 9 月 12 日（金）13:00～15:30

場所：コラッセふくしま 4F 多目的ホール AB



(1) 開会 規約に則り、名越ガバナーが議長となり、開会が宣言されました。

(2) 国歌演奏 全員起立の下、アメリカ、台湾、日本の国歌が演奏されました。

(3) 挨拶

① 名越ガバナー挨拶

- 2011 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生し、ここ福島においても甚大な被害が発生しました。この地で日本地区大会が開催されるのは大変意味深いことです。
- 今年度は国際キワニスの方針に則り会員増強に努めてきましたが、現在のところ会員数は微減に留まっています。日本地区ではそれぞれのクラブがその地域の伝統・歴史・文化に根差した考え抜かれた活動を行っています。これを継続させるためにも、将来のキワニスを背負う有能な会員の入会勧奨を進めなければなりません。
- 昨年台湾地区と友好協定を結びましたが、その交流実施プログラムとして、本年 8 月に東京で台湾と日本の子どもたちの交流会を実施しました。
- SLP の ASPAC 大会が神戸で開催され、防災について意見交換を行われました。
- 福島大会では、すべてのキワニアンが地道な復興の道程から学び、我々のあるべき姿を推察し、新しい時代に向けて、楽しく、活発で、和気あいあいとしたクラブ運営をするための一助としていただきたいと思います。

② Chang-Ching Hsu カウンセラー挨拶

- 福島大会の開催をお祝い申し上げます。
- 今年 3 月 27～28 日に神戸で開催された CK のアジア太平洋年次総会では大いなる成功をおさめられたことを称賛いたします。
- 3 月の ASPAC 大会において吉國様が国際理事に選出されたこともお祝い申し上げます。
- 最も長い歴史を持つキワニス日本地区は、2025-2026 年度も引き続き素晴らしい成果を上げられると確信しています。
- 福島大会の成功をお祈りします。

(4) 審議事項

議長の確認指示により、山田事務総長から、クラブ総数 41 に対して、34 クラブの出席があり、規約に定める定足数 3 分の 1 を超えているので会議として有効に成立している旨報告がありました。

第 1 号議案 総会規則採択の件

増田規約委員長より資料に基づき説明があり、意義なく承認されました。

第 2 号議案 2025-2026 年度役員・監事の選任の件

初めに久我資格認定委員長より、代議員 93 名、広域代議員 19 名、合計 112 名が出席しているとの報告がありました。（その後 3 名の代議員が加わり、最終投票者数は 115 名となりました。）

選挙の結果、各役職には次の会員が当選しました。

2025-2026 ガバナー	東京	中井 毅
2025-2026 次期ガバナー	徳島	朝田 玲子
2025-2026 事務総長兼財務担当	東京・埼玉	山田 祐司
2025-2026 監事（2 名）	東京	伊藤 一實
	鹿児島	工藤 健寿

議場より投票数開示を希望する声がありましたが、佐藤選挙管理委員長より ASPAC 大会に倣って開示しないとの説明がありました。

また資料に基づき、副ガバナー、日本地区委員会メンバーが報告されました。

第 3 号議案 2025-2026 年度事業計画（案）及び予算（案）の件

中井次期ガバナーから、資料に基づき事業計画と予算案（B 案、一部修正あり）の説明があり、異議なく承認されました。

(5) 報告事項

① 2024-2025 年度事業経過報告及び決算見込み

山田事務総長から、資料に基づき 2024-2025 年度の事業経過と決算見込みが報告されました。

② 可能性プロジェクトの紹介

名越 KCF 委員長から資料に基づき説明ありました。

③ キワニス日本財団（KJF）からの報告

増田 KJF 理事長から資料に基づき KJF の活動について報告がありました。

(6) 第 47 回日本地区年次総会開催地会長挨拶

佐藤大分クラブ会長より 2026 年 9 月 11 日に開催される大分大会への多数参加が呼びかけられました。

(7) キワニスソング「子どもに夢を」を出席者全員で唱和しました。

(8) 閉会

議長が閉会を宣言しました。

なおこの後、表彰式が行われました。



▲日本キワニス文化賞



▲ロバート・P・コネリー賞／英雄的自己犠牲賞



▲看板プロジェクト・コンテスト



▲日本地区優秀クラブ賞



▲日本地区優秀会員賞